

議員提出議案第 二 号

平成五年産米の政府買入価格並びに米の生産・流通等に  
関する意見書

このことについて、別紙のとおり大蔵大臣、農林水産大臣に意見書を提出する。

平成五年六月二十二日提出

提出者	三朝町議会議員	岩井澄雄
賛成者	三朝町議会議員	藤井享
賛成者	三朝町議会議員	吉田公博
賛成者	三朝町議会議員	岩本君美
賛成者	三朝町議会議員	平井一義
賛成者	三朝町議会議員	田栗公雄

平成五年六月貳拾貳日 原案可決

三朝町議会議長 西村武津美

平成五年産米の政府買入価格並びに米の生産・流通等  
に関する意見書

わが国の水田農業は、米の市場開放圧力が依然として強い状況にあるだけでなく、生産力の脆弱化の中で今後の担い手確保・育成が重要な課題となっている。

政府は、昨年六月に公表した「新しい食料・農業・農村政策」に基づいた政策の具体化に着手しつつあるが、経営体を育成する構造政策の展開に加えて、適切な国境調整措置等を含めた総合的施策が国内農業・農村の健全な発展に不可欠といえる。一方米の需給は、在庫水準が依然として低位にあり、当面の間逼迫気味に推移するものと予測される中で、全量集荷を基本に政府米・自主流通米・多用途利用米を通じたバランスある生産と集荷を實現していくことが課題となっている。

さらに、政府米価の体系は、大幅な順ザヤなど円滑な流通に支障をきたす状況となっており、価格水準においては、現行政府買入価格では再生産を確保する生産費と所得を補償する水準さえ償っていない状況となっている。

よって、政府は、農業者が安心して営農にいそしめるよう、「平成五年産米の政府買入価格並びに米の生産・流通等」について左記事項を講じられるよう強く要望する。

記

1 米の市場開放阻止と国内自給政策の堅持

わが国農業の基幹であり、国民の主食である米については、国内自給政策を堅持し市場開放は断じて行わないこと。

ガット農業交渉において、食料純輸入国としてのわが国の主張が、交渉の合意内容に反映されるようにすること。

- (3) 加工用米穀の安定供給並びに多用途利用米生産予定数量の確実な確保に向け、政府の責任ある対応と政府助成の拡充を図るとともに、地域の自主的な取り組みに対する行政支援を強化すること。
  - (4) 在庫水準がきわめて低位であるとともに価格体系が歪んでいる状況を踏まえ、とりわけ端境期における集荷・流通に混乱を招かないよう、政府は責任ある対策を講じること。
  - (5) 自主流通米価格が稲作所得の確保に重要な役割を果たしている状況を踏まえ、徒に価格変動が大きくならないよう、安定的かつ継続性のある入札の仕組みとすること。
  - (6) 政府管理米の円滑な集荷・需給管理に向け、実効ある不正規流通防止対策に取り組むこと。
  - (7) 政府米の集荷手数料は自主流通米に比べて低水準であるとともに、集荷に要する経費の実態を踏まえ、政府米集荷手数料を適正に引き上げること。
  - (8) 生産者抛出により取り組んでいる・自主流通米の計画在庫対策、需要拡大対策等について政府助成の継続・強化を図ること。
- 4 地域における水田営農の振興対策
- (1) 本年度からの水田営農活性化対策において、計画的稲作面積の確保と合理的転作の確保を図るなかで、復田に対する財政的支援を継続・拡充すること。
  - (2) 地域において取り組まれている水田農業の担い手の確保育成対策、家族経営を基礎とした経営体の育成対策に積極的な支援を強化すること。
  - (3) 意欲的な農家・集団に水田の利用権を集積するため、農用地利用調整の取り組みに對する支援を強化すること。